

# 総合的な探究の時間における、

## 目的に応じた的確な「情報の収集」をする力を育成するための指導の工夫

### －「聞く力育成シート」の活用と探究活動の振り返りを通して－

特別研修員 総合的な探究の時間 関根崇浩（高等学校教諭）

#### 聞く力育成シート

#### 授業実践：「前橋市中心商店街インタビュー」

前橋市中心商店街インタビュー事前指導①

#### 講演会「前橋市中心商店街の現状について」

1年 組 番 氏名

#### 「傾聴力」のポイント

・「目的」を意識して話を聞く。・相手が話しているときに口を挟まない。・相手の目を見て、頷きや相づちをする。

○話す人はどんな人か。(名前、立場、どんな活動をしているか、など)

○話を聞く「目的」を設定する(～について聞き取れるようにする、など)

- 〇先生 教授 教育→文化と文化をつなげる。
- 〇先生 代表理事 まちづくり調査研究、計画立案 実践、支援

- ・文化をつなげるとはどういうことか知る。
- ・今、どのようなまちづくりが行われているか知る。

#### 「要約力」のポイント

・話のテーマや結論を始めにメモする。・その結論の理由や根拠を聞き取りながらメモをする。・箇条書きでメモをする。

① 講演内容メモ

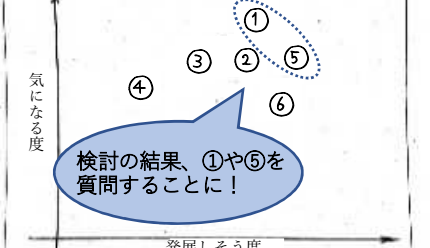
#### 「発問力」のポイント

- ・「気になったこと」を出してみる。
- ・「立場」を変えて考えてみる。
- ・複数人で質問を考えてみる。→その質問の妥当性を考える!

② メモから「気になること」や立場を変えた疑問点を挙げる。

- ① 新しいことばかり良いのか?  
→今残っているお店は活かせるのか?
- ② 若者の意見を届けるには?→何が求められている?
- ③ 活性化のイベントや活動はその後の続いているのか?
- ④ 前橋でしかできないことは他の地域にも類似点がないのか?
- ⑤ 人口は減っていないのに、なぜまちなかの利用者が減っているのか?
- ⑥ 他の地域も同じ問題を抱えているのか?

③ グループで質問を検討する。(妥当性→自分の「目的」にふさわしいかどうか)



【振り返り】

自己評価(それぞれ3段階で)

- ・傾聴力 → 2
- ・要約力 → 1
- ・発問力 → 3

○どうしてそう判断したか。

要約力が特にないと思いました。ただまとめているだけになってしまったので、重要ところをマーカーで目立たせたり、補足を入れたりするべきだった。質問はよく検討できた!

○次の「話を聞く」ことへの目標・改善点について。

話しをしている人がどのようなことを伝えようとしてくれているのか、考えながら聞くことと思いました。またメモに集中しすぎたので必要なことを重点的に書けるようにしたい。

#### 生徒の実態

- ・主体的に話を聞く準備が不十分である。
- ・要点をまとめることが苦手。
- ・質問が単純なものになってしまう。

⇒「情報の収集」をする力が不足

#### 【手立て1】

#### 「聞く力育成シート」の活用

#### 「傾聴力」

“どんな話を聞き取りたいのか”という目的を設定し話を聞くことで、聞く姿勢や態度が整う。

⇒「傾聴力」を高める!

#### 「要約力」

目的を設定することで“何を聞くか”が明確になり、その目的やテーマに沿って記録することができる。

⇒「要約力」の向上!

#### 「発問力」

チャート図を用いて疑問点を検討することで、より深い理解に繋げるための疑問を生み出すことができる。

⇒「発問力」を身に付ける!

#### 【手立て2】

#### 探究活動の振り返り

活動を振り返り、できたことやできなかったことに対して客観的に評価できるようにする。

「聞く力」が今回の講演会だけのものではなく、今後の活動とも関連していることを意識できるようにする。

#### 目指す生徒像

- ・「聞く力」(＝傾聴力、要約力、発問力)を高め、目的に応じた的確な情報の収集ができる生徒

#### 成果

- ・「聞く力育成シート」を活用することで、生徒の聞く姿勢が整い、何を記録するのかを考えることができた。
- ・講演会という場で、活発に生徒から質問が寄せられた。

⇒的確な「情報の収集」ができるようになった!

#### 課題

- ・「聞く力育成シート」の改良の必要がある。  
→ 枠の大きさに配慮し、生徒が記入できるスペースを確保する。
- ・自己評価の基準を設定する。  
→ 段階別到達点を設定し、自己評価ができるようにする。

